

番号	地区名	学校名	課程等	取組名	内容	身に付く資質等				
						ボ	障	ス	日	国
1910	多摩市	多摩第一小学校		地域学習（総合的な学習の時間）	●3年生「われらたまっ子」ちいきしまんを通して、地域への興味関心を高める。●4年生「私たちの多摩川」川の環境の学習を通して、地域の一員として、身近な川の環境の改善を図る。●5年生「見つめよう環境問題」様々な環境問題があることを知り、地域のために今の自分にできることに取り組む。●6年生「エネルギー」自分たちで発電し、駅前イルミネーションを点灯させ、地域参画の意識をもたせる。	○				
1911	多摩市	多摩第二小学校		視覚障害者マラソン伴走者による講演・実技指導	視覚障害者マラソン伴走者としてパラリンピックにも出場している方を講師にお招きし、全校児童を対象に視覚障害について、バリアフリーについて、パラリンピックについてのお話を伺う。また、実技指導では、速く走るためのフォームやポイントについて学び、実際に走る活動を行いながら直接指導をしていただく。		○	○		
1912	多摩市	多摩第三小学校		スポーツ旬間	児童の体力向上の期間を設定し、全校で取り組む（ダンス旬間、なわとび旬間、ジョギング旬間などを令和3年度は行った）			○		
1913	多摩市	蓮光寺小学校		特別支援学校との交流	都立多摩桜の丘学園との交流による障害理解授業や、パラリンピック種目である「ボッチャ」の交流を実施		○	○		
1914	多摩市	北諏訪小学校		パラリンピックスポーツ体験	総合的な学習の時間に障害者について学んだ上で、東京ヴェルディのブラインドサッカー体験の出前授業を実施		○	○		
1915	多摩市	東寺方小学校		障がい理解体験	車いすや白杖体験を総合的な学習の時間の学習に盛り込み、地域の老人介護施設と連携し児童自身が実感をする活動を実施		○			
1916	多摩市	南鶴牧小学校		地域の宝「芝生の校庭」を生かして	地域の宝である全面芝生校庭を生かしたボランティア活動や裸足での運動会、地域と連携した行事などを実施	○		○	○	
1917	多摩市	聖ヶ丘小学校		ヒジリンピック	前期5月の体力向上月間に合わせて、ヒジリンピック（体力向上のための遊びの要素を入れた取組）を行う。			○		
1918	多摩市	西落合小学校		校内研究（ESD）とのつながり	「文化」をテーマにした学習の中で、オリンピック・パラリンピックとの関連を明確にして日本の伝統・文化を学ぶ。さらに、SDGsと関わらせることで世界の課題を知り、身近にできることを考える。				○	○
1919	多摩市	大松台小学校		広げよう！やさしいまち	視覚障害者及び聴覚障害者との交流、点字体験、手話体験等を通して、障害者の生活や願いを理解し、自分たちができることを考え実行する。		○			
1920	多摩市	諏訪小学校		ボッチャ教室	外部の講師を招いて、ボッチャを行うことでパラリンピックの正式種目の体験を行う。		○	○		
1921	多摩市	永山小学校		障がい者スポーツ体験教室	「障がい者スポーツ体験教室」や「バラスポーツ体験（ボッチャ等）」を通して、障害者スポーツに親しむ活動を実施。		○	○		
1922	多摩市	瓜生小学校		瓜生太鼓	各学年の発達段階に応じた曲を学習し、学校や地域の行事、高齢者施設等で演奏を披露	○			○	
1923	多摩市	東落合小学校		ゴミ出しボランティア	年間を通して週に2回、足の不自由な方やお年寄りの家に行き、ゴミ出しのボランティアを実施。6年生の中で日にちごとに担当を決め、全員が交代で活動に取り組む。	○				
1924	多摩市	貝取小学校		輝け！かいどり！	地域や保護者、PTAと協力し、貝取小学校の周りの環境保全活動をゴミ拾いや草とりなど通して行う。	○				

ボ・・・ ボランティアマインド
 障・・・ 障害者理解
 ス・・・ スポーツ志向
 日・・・ 日本人としての自覚と誇り
 国・・・ 豊かな国際感覚

番号	地区名	学校名	課程等	取組名	内容	身に付く資質等					
						ボ	障	ス	日	国	
1925	多摩市	豊ヶ丘小学校		アイランドの学校との交流	東京都や本校の、SDGsに関する取組等について発表した動画の交換を通じた交流活動を実施					○	○
1926	多摩市	愛和小学校		ポッチャ体験	障害のある人が感じている困難さを学び、チームで協力して行う障害スポーツであるポッチャ体験を実施。		○	○			
1927	多摩市	多摩中学校		伝統文化継承会	地域の方々を講師として招き、日本（多摩地域）の伝統文化を中学生に継承していく会を実施					○	
1928	多摩市	東愛宕中学校		地域活動への協力	本校では、例年、生徒会や部活動を中心に呼びかけを行い、どんどこ焼きや地域のお祭りなどの地域行事への参加を行っており、今後もボランティアマインドの醸成に寄与する。	○					
1929	多摩市	和田中学校		昼プロジェクト	東京学校支援機構の講師による英語講座を、給食の時間から昼休みにかけて各学級で視聴する取り組みを実施						○
1930	多摩市	諏訪中学校		パラリンピック体験授業	ポッチャ普及団体によるポッチャの体験教室および講演・パラアスリートとの交流を実施		○	○			
1931	多摩市	聖ヶ丘中学校		特別支援学校（多摩桜の丘学園）との交流	テーマは、『共生社会の実現』。バラスポーツのポッチャの交流とマラソン大会での交流が基本。新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、間接的な交流に変更する。		○				
1932	多摩市	鶴牧中学校		外国人との交流活動	T T G G (Tama Tsurumaki Global Gateway) や地域未来塾・水曜サブリなどを通して、外国人と積極的にコミュニケーションを図る活動を実施					○	○
1933	多摩市	多摩永山中学校		着付けによるマナー講習	着付けによるマナー講習をとおして日本の伝統文化を学ぶ。講師として着物教室の先生方を招き、講話、講習などの交流を行う。					○	○
1934	多摩市	落合中学校		ポッチャの推進	バラスポーツ「ポッチャ」を全校生徒に普及指導し、ポッチャを通して特別支援学級の生徒と定期的に交流する。		○	○			
1935	多摩市	青陵中学校		ボランティア活動での地域との連携	地域行事や小学校でのボランティア活動に参加し、地域との連携を深める。	○					

ボ・・・ボランティアマインド
 障・・・障害者理解
 ス・・・スポーツ志向
 日・・・日本人としての自覚と誇り
 国・・・豊かな国際感覚